

国語科学習指導案

平成22年 12月21日(火) 1・3校時
3年 組 男子19名 女子16名 計35名
授業者 上原 千秋

1 単元名 二 いろいろなお祭りについて調べよう

2 教材名 つな引きのお祭り（東京書籍 3年下）

3 単元について

(1) 教材観

「つな引きのお祭り」は、全体が『はじめ』『中』『終わり』の三つに分かれている説明文である。

『はじめ』には、話題提示文「今も、日本各地のお祭りでつな引きが行われています。」が書かれており、綱引きの祭りの説明をすることが述べられている。『中』では、秋田(刈和野)、沖縄(真栄里)、鳥取(宝木)の三県に伝わるお祭りについて、「あらし」「準備」「綱引きの様子」「由来」という四つの内容を順に説明し、『終わり』には、三カ所の綱引きの祭りを受けてながら、祭りには人々の祈りや願いが込められていることを伝えている。

このように、文章構成が明確で、話のまとまりや筆者の思いなどが分かりやすく、中心となる語や文章が捉えやすい教材であることから、学習指導要領「C読むこと」の内容イ「目的に応じて、中心となる語や文をとらえて段落相互の関係を考え、文章を正しく読むこと」を指導するのに適した教材といえる。さらに、単元の後半では、自分の地域の行事やお祭りについて、教材文から読み取ったことを生かして説明文を書くことで、学習指導要領「B書くこと」の内容イ「文章全体における段落の役割を理解し、自分の考えが明確になるように、段落相互の関係などに注意して文章を構成すること」ウ「書こうとすることの中心を明確にし、目的や必要に応じて理由や事例を挙げて書くこと」の力をつけることができると考える。

教材を読み取るためには、段落相互のつながりや、文章全体の中でどの事柄が話の中心になるのかを見極めまとめていく力が必要である。

そこで、本教材では要約の視点を持ち、自己の知識や技能と照らし合わせて読み取り、書いて表現するメタ認知活動を活用した授業を展開していきたい。

(2) 児童観

3学年は、社会科・理科・総合的な学習の時間などの教科が増え、国語の学習で、読み取る・話し合う・調べて表現する等の知識・技能を育てることは重要だと考える。

これらのことから、指導の際学習したことが生かせるよう効果的な表現方法の知識・技能を習得させるとともに、その活用する際にメタ認知を働かせることで、学習に見通しをもち自己学習力が高まるものとする。

(3) 指導観

本単元では、説明文「つなぎの祭り」の3事例の4要素を活用し、地域のお祭りガイドブックを作るという言語活動を設定し、児童に読みから書くへ学習が進むという見通しを持たせる。ガイドブック作成を「学習のゴール」として目的意識を持たせ、学習過程を下記のように構成していく。

①読む前に書く

前年度生活科で行った「上田っ子祭り」の紹介文を書き、祭りを紹介するためにはどう書くと分かりやすい文章になるのか、書いた紹介文を5W1Hに視点を置き見直すことで、自己の書く力についてモニタリングすることができる。同時に、教材文から効果的な表現方法を学ぶという目的意識も児童に持たせながら、読むことへの意欲も育てたい。

②書きながら読む

事柄の順序に気をつけながら、まとまりごとに内容を読む力を身につけさせるためには、段落分けや小見出し付けなど文章構成を考える学習活動を行う。具体的には、3つの祭りを「あらまし」「準備」「様子」「願い」のまとまりで読み取るために教材文からキーワードを抜き出し、ミニガイドブックに書き表す学習活動や、3つの祭りを比べてその書き表し方の違いに気づき、筆者が何を中心に紹介したいのか読み取る学習活動である。展開の際、発問の工夫や学習計画表や学習の流れの提示・振り返り表の活用など、メタ認知活動を取り入れたワークシートや資料の提示を工夫し読む活動と書く活動が連動する授業を構築していきたい。

【具体的手立て】

①「はじめ」「中」「終わり」の構成

- ・形式段落分けでまとまりを捉えさせる。
- ・話題提示（問題提示）を「はじめ」、まとめを「終わり」とし、その間に書かれているのが「中」で、何が説明されているか考えさせる。
- ・「中」に書かれていることからどんなことが書かれているのか考えさせる。

②キーワードや中心文

- ・筆者が伝えたいことを考え、それを伝えるために必要な言葉や文章を考えさせる。
- ・5W1Hを活用させる。

③各段落の要点

- ・小見出しを5w1Hを活用して考えさせる。

④読んで書く

ガイドブック作成では、自分の伝えたいことを明確にし、教材文の読み取りを生かした文章構成になるようグループで資料集めを行う。そして、持ち寄った様々な資料から自分のガイドブックに必要なキーワードを選び出し、紹介文や見出しを書いて仕上げる。できたガイドブックを読み合い感想等を交流する。

4 単元の目標

◎それぞれのお祭りについて、内容を正しく読み取る。

◎お祭りや行事についていろいろな方法で調べ、調べたことを整理し、分かりやすく書く。

5 単元の評価規準

国語への 関心・意欲・態度	書 く	読 む	言語についての 知識・理解・技能
地域のお祭りや行事に関心をもち、調べたり、分かったことを伝え合おうとしたりしている。	調べて分かったことを整理して、ガイドブックにまとめて書いている。	それぞれのお祭りについて書かれている内容を読み取っている。 説明の順序・述べ方に注意しながら中心となる語や文を捉えて内容を正しく読んでいる。	言葉のきまりを理解し、漢字語句などを正しく使うことができる

6 指導計画と評価計画（全四次、16時間）

時	学 習 活 動	メタ認知活動		評価規準(評価方法)	
		メタモニタリング (気づき・感覚・予想 点検・評価)	メタコントロール (目標設定・計画・修正)		
一 次	1	○地域のお祭りについて知っていることを出し合い紹介文を書く。 ○紹介文を読み合う。	・自分の紹介文と比較しよく書けているところ工夫が必要なところに気付く。	・紹介文を書くことで学習のゴールについて見通しを持つ。	【関】 地域のお祭りに興味を持ち、紹介文を書こうとしている。 (ワークシート・発言)
	2	○教材文の題名から学習の見通しを立てる。 (学習計画表の作成)	・第1時での気づきから学習活動の見通しを立てる	・どこで、何を、どうするの学習の流れを確認する。	【関】 綱引きのお祭りに興味を持ち、学習計画を立てようとしている。 (ノート・発言)
二 次	3	○教材文を通読し、内容の大体を捉える。 ○内容理解に必要な文字や語句について辞書を利用して調べる。	・要約する力を評価する。 ・読み取るためのキーワードを確認する。	・内容理解が十分でない場合、友達の記事を参考に読み取りを修正する。	【読】 文章構成を理解している。 書かれていることを読み取る。 (ノート・発言)。
	4	○教材文を読み、文章構成を考える。 「はじめ」「中」「終わり」の視点でまとめる。	・要約する力を評価する。 ・読み取るためのキーワードを確認する。	・「はじめ」「中」「終わり」の視点に合わせて書かれているか修正する。	(読み取りのキーワード・構成図・板書、教材文拡大資料や、挿絵、写真、具体物、ワークシートなど)
	5	○3つの綱引きが紹介されていることを捉え、大まかな文章構成を理解する。	・中には、3つの事例があることを読み取らせる。	・内容理解が十分でない場合、友達の記事を参考に読み取りを修正する。	
	6	○刈和野の綱引きを4つの内容「あらし」「準備」「綱引きの様子」「由来」に分かれて書かれていることを読み取る。 ○筆者の伝えたいことの中心的事項を読み取る。	・筆者の伝えたいことの中心的事項を読み取る。 ・4つの内容に気付く。 ・次時でも生かせることはないか気付く。	・読みをどう生かすか意識させ、見通しを持たせる。	【読】 刈和野の綱引きの「あらし」「準備」「綱引きの様子」「由来」について読み取っている。(ワークシート・観察)
	7	○真栄里の綱引きを内容ごとに分けて書かれていることを読み取る。	・4つの内容のどこに中心がおかれているか気付く。 ・次時でも生かせることはないか気付く。	・読みをどう生かすか意識させ、見通しを持たせる。	【読】 真栄里の綱引きの「あらし」「準備」「綱引きの様子」「由来」について読み取っている。(ワークシート・観察)
	8	○宝木の綱引きを内容ごとに分けて書かれていることを読み取る。	・4つの内容のどこに中心がおかれているか気付く。	・読みをどう生かすか意識させ、見通しを持たせる。	【読】 宝木の綱引きの「あらし」「準備」「綱引きの様子」「由来」について読み取っている。(ワークシート・観察)
	9	○読み取った内容の文章構成をまとめる。	・読み取ったことをガイドブックへどう生かせばいいのかわかる。	・3つの綱引きに共通していることや違うことをまとめる。	【読】 文章構成を理解している。 (ノート・発言)。
三 次	10	○ガイドブックの作り方を知る。	・ガイドブック作成に必要な表現方法や作業手順を手引きを参考にしながら考える。	・教材文を参考に4項目のどこに視点を置くか考え、計画を立てる。	【読】 教材文で読み取ったことや、手引きを参考に考えることができる。(ノート・発言)。
	11	○ガイドブックに紹介したいお祭りや行事を決め、調べる内容や調べ方を話し合う。	・ガイドブックに書く内容を再確認する。 5W1H「いつ」「どこで」「だれに」「どのような内容を」「どう表現する」の視点で話し合う。	・「だれが」「どんなことについて」「いつ」「どこで調べる」について計画を立てる。	【書】 ・どんなガイドブックにするか書こうとすることの中心を明確にし、調べる内容を分担する。 (ワークシート・発言)
	12	○グループで決めたお祭りについて調べる。	・教材文の表記を参考に分かりやすい文章で書けているのか評価する。	・4項目が書かれているか見直し、情報が足りなければ計画を修正する。	【書】 ・情報を取捨選択して取材メモを書いている。 (ノート・発言)。
	13 本時	○グループで分担して調べたお祭りや行事やお祭りについてガイドブックにまとめる。	・グループで分担した内容を、表現方法や構成を工夫して自分なりに書き表す。	・グループで調べた資料をもとにガイドブックにどういかせたかを考え、足りない部分は見直す。	【書】 中心をはっきりさせて文を書いたり、作品の作り方を工夫したりしている。 (ガイドブック・観察)
	15	○ガイドブックを仕上げる。	・分かりやすい表現になっているか第11時を参考に点検する。	・次時に使えるよう時間を調整しながら仕上げる。	
四 次	16	○書いた作品を読み合い感想を伝え合う。 ○学習の振り返りを行う。(感想カード)	お互いの作品を読み合い、表現の工夫に視点をあて話し合わせる。	伝えたいことが、正確に伝わったかどうか。また、その表現の仕方が分かったか視を示し振り返らせる。	【関】 学習活動を振り返って、その成果を確認しようとしている (ワークシート・発言)

7 本時の学習（12・13/16）

(1) 本時のねらい

ガイドブックに載せる事柄を考えながら資料を読み、キーワードや必要な文を抜き書きすることができる。【書】

(2) 授業仮説

資料の中から、5W1Hを活用してキーワードや中心文などに視点を置くことで、ガイドブック作成に必要な情報を取捨選択し、取材メモを作成することができるであろう。

(3) 展開

過程	学 習 活 動	○個に応じた支援 ・留意点 ◆メタ認知活動	評価規準【観点】〔方法〕
導入 5分	1, 前時の振り返りと今日の習を確認する。 2, めあてを確認する。 ガイドブックに載せるお祭りや行事の「あらまし」「準備」「様子」「願い」についてグループで調べ、取材メモにまとめよう。	◆振り返り表を使用し、キーワードや文の選び方を確認することができる。 「つな引きのお祭り」と同じように読み取り、取材メモを作るよ。	
展開 40分	3, 紹介したいお祭り・行事について調べる。 ①調べたいお祭りや行事について書かれた本やパンフレットなどの資料を読み、必要な情報を選ぶ。 ☆3つのお祭りと同じ調べ方でいいんだね。 ☆5W1Hが使えるそうだ	・5W1Hに沿ってキーワードや文章を抜き書きさせる。 ・付箋にメモさせる。(1人1色) 4つの内容を5W1Hを使って、取材メモを作るよ。	【書】 ガイドブックに載せる事柄を考えながら資料を読み、キーワードや必要な文を抜き書きすることができる。 [ワークシート・観察]
35分	②「あらまし」「準備」「様子」「願い」に分けて取材メモを作成する。 ③付箋に書いた取材メモをワークシートに内容ごとに整理して貼る。 4, 伝えたいことの中心を決める ①4つの内容の何を詳しく紹介したいのか決める。 ☆たくさんの人が協力して作っている様子を中心 ☆健やかな成長を願うお祭りにしよう	◆教材文を参考に分かりやすい文章で書けているか見直す。	
まとめ 10分	②伝える中心に合わせて取材メモをワークシートに整理する。 5, 本時のめあてを振り返り、ガイドブック作成に必要な文章やキーワードを準備できたか確認する。 6, 次時予告を行う。	◆振り返り表を使用し、書くために必要な言葉や文の選び方メモの書き方が理解できたかを確認させる。	

(4) 板書計画

つな引きのお祭り 北村皆雄 文

学習の流れ

- ① 資料や本からキーワードを探す。
- ② キーワードを内容ごとに分ける。
- ③ 伝えたいことの中心を決める。

(5) 座席表

キーワードを読み取る力 (◎ 5 W1Hw 使える ○ 主述の関係は分かる △ 支援が必要)

教壇			
(つなひき)	(那覇大綱ひき)	(エイサー)	(ハーリー)
(桜祭り)	(ひなまつり)	(産業祭り)	
		(トウシビー)	(ムーチャー)